



プログラム 10月25日(金)

13:00-13:10	開会の辞 井ノ口仁一 (世話人代表)
13:10-13:20	会長挨拶 谷口直之 (JCGG会長)
セッション1 メタボリックシンドロームと糖鎖 座長 仁田一雄、東秀好	
13:20-13:45	大坪和明 (熊本大学) 糖尿病発症過程におけるβ細胞の糖鎖異常
13:45-14:10	秋元義弘 (杏林大学) O-GlcNAc修飾と糖尿病
14:10-15:35	永福正和 (東北薬科大学) T細胞分化制御機構および免疫疾患における スフィンゴ糖脂質発現の意義
14:35-15:00	井ノ口仁一 (東北薬科大学) 生体恒常性の破綻とスフィンゴ糖脂質代謝
15:00-15:40	休憩
■特別講演 I 座長 井ノ口仁一	
15:40-16:25	片桐秀樹 (東北大学) メタボリックインフォメーションハイウェイ
■特別講演 II 座長 遠藤玉夫	
16:25-17:10	大隅典子 (東北大学) 脳と内耳における脂質シグナルの役割 —統合失調症および加齢性難聴との関連について—
18:30-20:30	懇親会

プログラム 10月26日(土)

セッション2 がん糖鎖 座長 宮城妙子、顧建国

9:30-9:55	大山 力 (弘前大学) 前立腺特異抗原(PSA)糖鎖のがん性変異を検出する新規アッセイ法の臨床応用
9:55-10:20	顧 建国 (東北薬科大学) がん遺伝子GOLPH3によるN型糖鎖と細胞接着の制御とその意義
10:20-10:45	三善英知 (大阪大学) 糖鎖科学による膵がんへの挑戦
10:45-11:10	宮城妙子 (東北薬科大学) がん化におけるシアリダーゼの役割
11:10-11:30	古川鋼一 (名古屋大学) マスタープラン学術大型研究計画 「複合糖質の統合的理解と疾患の解明をめざす 先端的・国際研究拠点の形成」の概要
11:30-11:40	休 憩
11:40-12:30	ランチョンセミナー (sponsored by 島津製作所) 座長 井ノ口仁一 鈴木明身 (東海大学) Targeted Glycolipidomicsが可能にする新展開
12:30-13:00	休 憩

セッション3 神経機能と糖鎖 座長 橋本康弘、北川裕之

13:00-13:25	門松健治 (名古屋大学) 硫酸化糖鎖による神経軸索再生制御
13:25-13:50	北川裕之 (神戸薬科大学) 神経系におけるコンドロイチン硫酸の役割
13:50-14:15	岡 昌吾 (京都大学) グルタミン酸受容体に発現するN型糖鎖とその役割
14:15-14:40	橋本康弘 (福島県立医科大学) 髄液型糖鎖と中枢神経疾患
14:40-15:00	休 憩

セッション4 応用糖質科学 座長 齋藤忠夫、正田晋一郎

15:00-15:25	正田晋一郎 (東北大学) オリゴ糖脂質を合成する新手法の開発
15:25-15:50	白井 孝 (野口研究所) 均一糖鎖構造を持つ糖タンパク質合成の動向と展望
15:50-16:15	齋藤忠夫 (東北大学) ヒト大腸ムチンの糖鎖構造を認識結合する プロバイオティクスの選抜技術と大腸がんや潰瘍性大腸炎 予防への応用
16:15-16:40	袖岡幹子 (理化学研究所) 代謝安定型ガングリオシドの合成と生物活性
16:40-16:45	閉会の辞